

事務局長方針

小倉 大地

委員会日：毎月22日前後

=委員会メンバー=

事務局次長：後藤磨衣子 吉村 栄里

運営幹事：大竹 渉

会計幹事：鈴木 佑将

事務局員：太田ゆかり 熊崎 聖児

<事務局長方針>

中津川青年会議所は、これまで多くの先輩諸兄が「不撓不屈の精神」をもち、このまちを良くしようと一丸となり、活動してきたからこそ今があると考えます。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、メンバー同士の繋がりや中津川青年会議所運動の発信が弱くなっていると感じます。これからも、メンバーが一丸となり青年会議所運動を行っていくためには、メンバーがお互いを知り、強固な関係性を築いていくことが必要です。そうすることで、どんな困難も乗り越えていける絆となります。そして、各種SNSを活用し、中津川青年会議所の活動を対外の方から関心を寄せていただけるように、見る方のことを考え、事業活動の結果報告だけではなく、事業実施に至るまでの過程も発信することで、より魅力のある青年会議所に繋がると考えます。

会務業務では、各委員会が立案する事業計画書等の精査があります。まずは、各委員会の委員長、副委員長と交流できる場を設け、つくり手の想いやイメージを共有した上で、精査を行ってまいります。また、メンバーに気持ちよく会議に参加していただけるよう「より良い設営」を心掛け、効率的且つ円滑な会議運営を行うと共に資料の作成や記録の保全に努めてまいります。

渉外業務では、多くのメンバーに参加していただけるよう対内外の活動に対し、関心をもっていただける発信を心掛けると共に、メンバーにとって有益な情報発信を行ってまいります。そして、どのような状況でもメンバーが楽しんで交流できる場を思い描き、その中で、絆を深められる場を提供してまいります。そして、出向者の頑張る姿をメンバーに展開し、出向者が関わる事業に一人でも多く参加していただけるようサポートしてまいります。

OB交流会では、特別会員の皆様に本年度の運動発信を報告し、これまで中津川青年会議所を支え続けていただいた先輩諸兄への感謝と尊敬の意を表すると共に、今後の青年会議所活動に対してもご理解、ご協力をいただく必要があると考えます。また、コロナの影響に

より交流が失われたからこそ、交流できることに感謝し、今まで以上に親睦を深めてまいります。

事務局メンバーには、各々の役割を理解していただき、責任をもって行動していただくと共に、メンバーにとってより良い組織になるように積極的に新しい発想をもって実践していただきたい。だからこそ、私は、事務局長として、事務局メンバーに規則やルールを遵守していただくと共に、一つひとつの業務に対し、目的をもって取り組んでいただき、成長できる機会の提供をしてまいります。

<事業計画>

- ・OB交流会の開催

<事業予算>

- ・75,000円

<業務内容>

- ・理事会・例会の運営と記録の保全
- ・各委員会報告の取りまとめ
- ・会員拡大の取りまとめ
- ・経理業務
- ・渉外業務
- ・メンバーへの情報提供
- ・各事業の支援
- ・出向者への支援
- ・ホームページ、SNSの運営及び広報活動